

## 早川 泰宏 さん (帝人クリエイティブスタッフ株式会社 取締役 購買物流部門長)



- 42人の部下は、男女の管理職・総合職、新卒者・中途入社者、正社員・派遣社員と多彩な構成  
ダイバーシティマネジメントは特別なことではない
- インドネシア勤務時代に、異文化での仕事の難しさと、海外では自分がマイノリティであることを実感
- 大学生の二人の息子さんと奥様の4人家族  
家族内ではなんでも話す(50代)



### 海外勤務を通して体感したダイバーシティとは

- 海外ではその国のルールに従って仕事をするしかない。異なる考えを持つ彼らとコミュニケーションをとるコツは、彼らの中に自分を置いて考えてみることにあった。
- 日本人学校の少年サッカーチームの監督経験は楽しかった。他のインターナショナルスクールの子供たちとの交流は、子供にも良い刺激を与えることができた。

### 組織運営のポリシーは

- 多様性のある人財を集めることで、まず個人が活性化される。個人の活性化が結果的に組織の活性化に繋がる。「会社への貢献よりも、まず自分の成長を重視せよ」と若い人には伝えている。
- 男女差よりも個人差が大きい。子育て期など家庭責任を果たすためのサポートが会社制度として必要。

### 男性へのメッセージ

- ダイバーシティマネジメントはあまり特別なことだとは思っていない。結婚・育児を経験した女性を戦力として使っていけない企業は生き残れない。そういう基盤整備をしない会社は競争力を失う。
- 特に製造業は現場力が落ちている。ダイバーシティマネジメントはその回復のためにも必然的にやらざるを得ない。

### 女性へのメッセージ

- 結婚・育児の乗り越え方(どうやって乗り越えたか)をもっと情報発信したほうがよい。J-Winもその点でサポートできるのではないか。マネジメントとしても、ロールモデルを明示するといった形での協力を求めている。

### その他

- 子育ては家内に任せきりだったが、家族内ではなんでも話す。海外での生活が家族の結束を強くした。家内は海外での生活体験を活かし、ここ数年日本語教師の仕事をしている。
- 平日はほとんど仕事。休日は家族と過ごすという生活だったが、家内が海外研修で3ヶ月家を空けた間は自分が家事を肩代わりした。妻から「私が長期不在でも大丈夫ね」といわれた。